

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年8月16日(2012.8.16)

【公開番号】特開2010-17556(P2010-17556A)

【公開日】平成22年1月28日(2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-162310(P2009-162310)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月4日(2012.7.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象物の超音波データを取得するように構成された超音波プローブ(26)と、
取得した前記超音波データを表示のために処理するように構成されたプロセッサモジュールと、
前記プロセッサモジュールにตอบสนองして、前記超音波データに基づく三次元超音波画像ボリュームおよび前記超音波画像と組み合わせた前記超音波プローブの三次元図的表現(162)を表示するための表示器(38)と
を含み、

前記三次元超音波画像ボリュームにおける前記超音波プローブの三次元図的表現の位置が、結像されている前記対象物の前記三次元超音波画像ボリュームに対する前記超音波プローブ(26)の三次元位置に対応する、
超音波システム(20)。

【請求項2】

前記超音波プローブ(26)が非対称に形づくられた容器を備える請求項1に記載の超音波システム(20)。

【請求項3】

前記表示器(38)が、前記超音波プローブ(26)の移動に基づいて、前記超音波プローブの前記三次元図的表現(162)の配向および位置のうち1つを更新するように構成される請求項1に記載の超音波システム(20)。

【請求項4】

前記表示器(38)が、前記超音波プローブの前記三次元図的表現(162)と前記超音波画像(164)の間に皮膚ライン(168)を表示するように構成される請求項1に記載の超音波システム(20)。

【請求項5】

前記表示器(38)が、前記超音波プローブ(26)向けに移動方向および回転のうち少なくとも1つを示す少なくとも1つのインジケータ(172)を表示するように構成される請求項1に記載の超音波システム(20)。

【請求項6】

侵襲性デバイス(170)をさらに備え、前記表示器(38)が、前記超音波画像(1

64)と組み合わせで前記侵襲性デバイスを表示するように構成される請求項1に記載の超音波システム(20)。

【請求項7】

侵襲性デバイス(170)をさらに備え、前記表示器(38)が、前記侵襲性デバイスの外挿された表現を表示するように構成される請求項1に記載の超音波システム(20)。

【請求項8】

前記超音波プローブの前記図的表現(162)が、コンピュータグラフィックで発生された描画を含む請求項1に記載の超音波システム(20)。